

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム【様式例】

学校番号：27511

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
成 果	課 題
◇学校評価アンケートから、行事や学習に主体的に取り組む、友達と協力できる姿や、協働して体力を向上させようとする姿がみられる。 ◇学習意欲に関しては、昨年度と同様で、児童の9割が意欲的に学習に取り組むことができていますと捉えている。	◇学校評価アンケートから、宿題・家庭学習の習慣化を目指し、自ら進んで学習に取り組むことや、最後まで話を聞き、自分の考えをまとめ、表現することなどは評価が下がってきている。 ◇札幌市の共通指標「自分の意見を進んで発言しようとしている」における児童の割合は7割を下回っている。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
◇札幌市の共通指標の「人の役に立ててうれしいと感じることがある」「人の役に立つ人間になりたいと思う」の他者の承認に関する項目の肯定的な回答が9割を超えている。これはブロックを中心とした異学年交流を積極的に取り入れてきたことにより、自己有用感を高めることに繋がっていると考えられる。一方「自分が必要とされていると感じる」等の相互承認に関連する項目において、肯定的な回答が7割を下回っていることから、自分に自信がもてる場の創出が必要である。	
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力	
○主体的に問いを見付け、協働的に学習に向かい学び続ける力	
課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
◇研究主題：「楽しく動く『～たいわ』が生まれる授業」の実現 →自己との対話：未知への興味や経験とのずれなどから、「問い」を生み出す。 【子どもが学び続ける単元構成】 →他者との対話：友だちの考えから自らの学びを深め、互いに高め合うことで、「協働的な学び」を創造する。 【協働的な学びを支える「前田中央スタンダード」】	◇異学年による協働した取組の推進 ●学年を超えたブロックで実施 ・なかよしハイキング ・運動会の表現や団体競技 ・開校40周年記念集会における取組 →上の学年がより主体的に活動を行う。 ◇自分の学びや行動を実現する取組 ・札幌っ子サミット 小中の児童会と生徒会の交流会の実施
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について	
◇大きく見せる、わかりやすい説明。基礎・基本を支える実物投影機の活用 ・昨年度から教室環境を整え、全クラスに実物投影機の常設・固定と教室前面に遮光カーテンを取り付けた。校内研修を通して、授業での活用方法などを職員間で共有し、授業改善につとめていきたい。児童の基礎・基本に関わる学ぶ力を確実に身につけさせる指導を行っていく。 ・クロームブックの機能を活用し、全員が自分の意見を表出することで、友達の考えから自らの学びを深める学習を実施し、学力の向上を図っていきたい。	

<本プログラムの実行に向けて>

